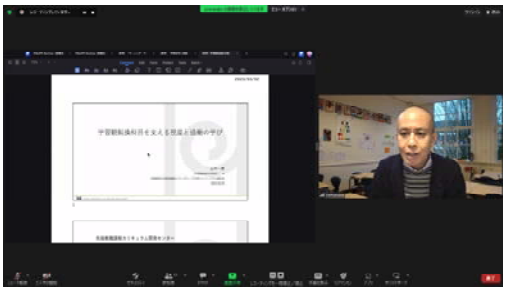
CReATE Seminar
Society5.0×Teacher Education研究会（第3回）

「読んでいなくても参加できる」読書会〔主として「初等教科授業デザイン」担当教員向け〕を開催しました

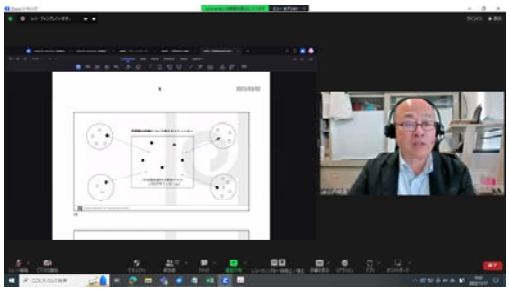
開催日時：2023 年 11 月 17 日(金)　16:30～18:00
場　　所：Zoom によるオンライン
参 加 者：「初等教科授業デザイン」授業担当予定の教員　他
主　　催：C-TEX 学習観転換科目開発チーム・FD デザインチーム
共　　催：FD 推進委員会

今回の「読書会」は、「学習観の転換について考えるコミュニティ」としての最初の取り組みでした。「学習観の転換について考えるコミュニティ」とは、学内で新たに組織された本学教員の協働的な学びの場で、そこでは、「学習観の転換とはそもそも何か」「転換された学習観のもとでいかに授業をリデザインしていくのか」「転換された学習観のもとでの新しい評価として、具体的にどのような方法がありうるか」等の問いをめぐって、学びを積み重ねていくことが計画されています。



参加者は、今回の課題図書である「森敏昭（監修）藤江康彦・白川佳子・清水益治（編集）『21 世紀の学びを創る―学習開発学の展開―』 北大路書房」と「大島 純・千代西尾祐司（編）『主体的・対話的で深い学びに導く 学習科学ガイドブック』 北大路書房」を手元に用意し、読書会に臨みました。

参加者の満足度は高く（4.44 点／5 段階）、事後アンケートの結果は良好でした。先行的に取り組んでいる大学等の事例を紹介してはどうか、各教科によって取り組みが異なる部分があるので、自分たちの取り組みを紹介し合ってはどうかといった今後の具体的な提案も寄せられました。



学習観の転換を企図した授業開発は、多くの大学の共有課題です。まずは学内で種々の試行を重ね、その後はコンソーシアムを構成する連携機関にも参加を呼びかけることを検討しています。